

ほたる狩りの大入道 (京都)

むかし、おばあちゃんがまだ小さかったころ。お兄ちゃんたちと田んぼへほたる狩りに行きました。

帰り道、一番後ろを歩いていたおばあちゃんは、みんなから少しおくれでしまいました。ふと気がつくと、前に人が立っています。暗いので、だれだかよくわかりませんが、子どものようなです。近づいても動くようすがありません。おばあちゃんは、

「そこ、どいてくれる」といいましたが、どいてくれません。お兄ちゃんたちはどんどん先へ行ってしまいます。何度も、

「どいてくれる」といいながら、手でおしのけようと思いました。すると、とつぜん、その人が大きくなりはじめ、ぐうんと、大きな大入道になったのです。

おばあちゃんは、
「わあっ」といって、ひっくり返ってしまいました。そのとたん、大入道は、ぽかっと消えました。

おにいちゃんたちがさけび声を聞いて走ってきましたが、大入道はどこにもいませんでしたとさ。

原話…知人が祖母から聞いた話
再話…村上郁